

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（月）午前

会場	マルチメディアホール	会場1 (B200)	会場2 (C200)
	<b>R23. 地球史</b>	<b>R13. 岩石・鉱物の破壊と変形</b>	<b>S2. 環太平洋オフィオライト：沈み込み，付加作用，マントル・プロセス</b>
	座長：高橋 聡 (14-17)，山田健太郎 (18-21)，尾上哲治 (22-25)	座長：丹羽正和 (1-6)，高橋美紀 (7-12)	座長：宮下純夫 (1, 5-7)，石渡 明 (2-4)
8:45	8:45 <b>R23-O-14</b> サリトレ層炭酸塩岩（新生成代，ブラジル）の有機・無機炭素同位体比から見た炭素循環と組織形成。 <b>狩野彰宏・森 大器・藤田ひかる・曾根知美・古山精史朗・奥村知世・柿崎喜宏</b>	8:45 <b>R13-O-1</b> 南海トラフ付加体浅部堆積物の摩擦特性。 高橋美紀・東 修平・伊東英紀・金川久一・井上厚行	8:45 <b>S2-O-1</b> Plume-type ophiolites in Japan, Russia and Mongolia: peculiarity and global importance. <b>ISHIWATARI, Akira</b>
	9:00 <b>R23-O-15</b> 新生成代大進化したベルム紀末大量絶滅時の海洋酸素環境変動。 <b>海保邦夫・大庭雅寛・静谷あてな・齊藤諒介・山田憲司・千馬 直登・菊池みのり・宮地崇至・劉玉慶・高橋聡・ゴージャン ポール・トン ジンナン・チェン ツォンチャン</b>	9:00 <b>R13-O-2</b> 含水・大変位条件下での断層摩擦の速度依存性に及ぼすモンモリロナイト含有量の影響。 <b>堤 昭人・中野龍二・坂本龍一</b>	9:10 <b>S2-O-2 (招待) ★</b> Classification of Ophiolites and Their Tectonic Settings of Formation. <b>DILEK, Yildirim</b>
	9:15 <b>R23-O-16</b> 有機地球化学分析によるオーストラリアにおける新生成代マリノアン水期後の古海洋環境。 <b>静谷あてな・海保邦夫・大庭雅寛・チェン ツォンチャン・トン ジンナン・ゴージャン ポール・高橋 聡</b>	9:15 <b>R13-O-3</b> 蛇紋岩・タルクの摩擦特性にたいする間隙圧の影響。 上原真一・清水以知子・岡崎啓史・中谷正生	9:35 <b>S2-O-3</b> Formation of oceanic crust as viewed from the Oman ophiolite and deep ocean-floor drilling. <b>MIYASHITA, Sumio, ADACHI, Yoshiko and NOGAWA Yutaka</b>
	9:30 <b>R23-O-17</b> 南中国三峡地域におけるキオゲニアン紀最後期からエディアカラ紀の浅海酸素環境変動：堆積有機分子の証拠。 <b>山田憲司・海保邦夫・大庭雅寛・トン ジンナン</b>	9:30 <b>R13-O-4</b> 石英のマイヤー硬度：結晶方位依存性について。 <b>増田俊明・大森康智</b>	10:00 <b>S2-O-4 (招待)</b> Diverse Origins of Earth's Youngest Ophiolitic Rocks in the Active Banda Arc-Continent Collision Zone. <b>HARRIS, Ron, VALENZA, Jeff, SPENCER, Chris, HOILAND, Carl and FLORES, Josh</b>
	9:45 <b>R23-O-18</b> デボン紀末絶滅事変近傍の海洋無酸素事変における陸上からの影響：バイオマーカーからの証拠。 <b>小形優加里・海保邦夫・大庭雅寛・高嶋礼詩・小松俊文・平田健人</b>	9:45 <b>R13-O-5★</b> 岩石の流動変形と境界面の幾何学。 <b>高田和佳・佐藤鋭一・山崎和仁</b>	10:25 <b>S2-O-5 (招待) ★</b> Ultra-high pressure chromitite as possible evidence for mantle convection. <b>ARAI, Shoji</b>
	10:00 <b>R23-O-19</b> 超海洋中央におけるG-L境界事件：ベルム系中・上部赤坂・石山石灰岩の高分解能岩相・生・同位体層序。 <b>小福田大輔・磯崎行雄・猪郷久義・可見智美・石村豊穂</b>	10:00 <b>R13-O-6</b> Strain-induced amorphization and assimilation process of graphite in fault zone of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. <b>中村佳博・Madhusoodhan Satish-Kumar・豊島剛志</b>	10:50 <b>S2-O-6 (招待) ★</b> Origin and accretion history of the circum-Pacific orogenic belts in NE Russia. <b>SOKOLOV, Sergey D.</b>
	10:15 <b>R23-O-20</b> 遠洋域深海相ベルム紀-三疊紀境界層における火山灰起源層の可能性。 <b>高橋 聡・山崎慎一・小川泰正・土屋範芳・木村和彦・海保邦夫・吉田武義・多田隆治</b>	10:15 <b>R13-O-7★</b> 鏡肌の微細組織とその断層運動へ与える影響。 <b>西脇隆文・安東淳一・廣瀬丈洋・鍵 裕之・大藤弘明</b>	11:15 <b>S2-O-7 (招待) ★</b> Ophiolites and blueschists: Current petrologic image of the Pacific-type subduction zones 50 years after Coleman's. <b>TSUJIMORI, Tatsuki</b>
	10:30 <b>R23-O-21</b> ベルム紀末大量絶滅時とその前後の深海の酸素環境：郡上八幡のバイオマーカーからの証拠。 <b>劉 玉慶</b>	10:30 <b>R13-O-8</b> 巨大二軸型岩石摩擦試験機で生成されたガウジの物性特性。 <b>滝沢 茂・福山英一・山下 太・溝口一生・川方裕則</b>	11:40 <b>Concluding Remarks</b>
	10:45 <b>R23-O-22</b> 南中国巢湖における前期三疊紀後期の海の還元環境発達：大量絶滅後の回復の遅れの原因。 <b>齊藤諒介・大庭雅寛・海保邦夫・高橋 聡・奈良郁子</b>	10:45 <b>R13-O-9</b> かんらん石の衝撃圧縮実験：深発地震震源過程解明に向けての試験的研究—その2。 <b>小畑正明</b>	
	11:00 <b>R23-O-23</b> ニュージーランド遠洋P/T境界層における環境変動解析。 <b>堀 利栄・池田昌之・池原 実・小玉一人・山北 聡・竹村厚司・相田吉昭・酒井豊三郎・高橋 聡・Sporli K, Bernhard・Grant-Mackie Jack, A.・Campbell Hamish・Hollis Chris</b>	11:00 <b>R13-O-10</b> 断層・欠陥場における変形場と磁場の相互作用：非Riemann幾何学とFeynman証明。 <b>山崎和仁・中村 望</b>	
	11:15 <b>R23-O-24★</b> 長期気候変動のメカニズム：全球的な陸弧-島弧分布変遷との関係。 <b>横山祐典・Lee Cin-Ty, A.</b>	11:15 <b>R13-O-11</b> 不均質媒体中のダルシー流とフィンスラー空間。 <b>長濱裕幸・谷島尚宏</b>	
	11:30 <b>R23-O-25</b> 気候温暖最盛期の実現条件とメカニズムの提唱。 <b>尾崎和海・横山祐典・田近英一</b>	11:30 <b>R13-O-12★</b> 板状節理の形成メカニズム。 <b>佐藤 景・石渡 明</b>	

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。  
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

# 日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（月）午前

会場	会場3 (B201)	会場4 (B203)	会場5 (B204)
	<b>R21. 地学教育・地学史</b>	<b>R17. ジュラ系+</b>	<b>R22. 第四紀地質</b>
	座長：松田義章 (1), 矢島道子 (2,9)	座長：石田直人 (1-3), 松岡 篤 (4,6)	座長：秋元和實 (1-4), 河潟俊吾 (5-7), 川上源太郎 (8-10), 遅沢壮一 (11-12)
8:45	8:45 <b>R21-O-1</b> 日本の地質調査所の嚆矢. <b>矢島道子</b>	8:45 <b>R17-O-1</b> イラン西部ケルマンシャ地域の中生代珪質岩とその放散虫年代. <b>松岡 篤・Vaziri Seyed Hamid</b>	8:45 <b>R22-O-1</b> 東北地方太平洋沖地震津波による地形・植生変化と地形条件による影響. 平野信一・ <b>山田 努</b> ・箕浦幸治
	9:00 <b>R21-O-2</b> アンモナイトの原記載を求めて：異常巻きアンモナイト <i>Polyptychoceras</i> と矢部長克博士. <b>生野賢司</b> ・平野弘道	9:00 <b>R17-O-2</b> 長野県塩尻市贅川-木曾平沢地域の珪質泥岩から産出した放散虫化石. <b>内山雅貴</b> ・松岡 篤	9:00 <b>R22-O-2</b> 松島湾の底生有孔虫群集：2011年東北沖津波からの回復. <b>河潟俊吾</b> ・田中裕一郎・長尾正之・藤原 治・鈴木 淳・入月俊明・吉岡 薫・河野重範・西村 修・佐々木久雄
	9:15 <b>R21-O-3★</b> 古生物学の逆襲－断続平衡説の再評価. <b>高橋昭紀</b> ・田中泉史	9:15 <b>R17-O-3</b> 白山区の手取川および滝波川流域における手取層群の白亜紀前期植生変遷史. <b>酒井佑輔</b> ・関戸信次・松岡 篤	9:15 <b>R22-O-3★</b> 宮城県松島湾のコア分析に基づく2011年東北沖津波に関連した底質環境と貝形虫群集の変化. <b>入月俊明</b> ・田中裕一郎・長尾正之・藤原 治・鈴木 淳・河潟俊吾・吉岡 薫・河野重範・西村 修・佐々木久雄
	9:30 <b>R21-O-4</b> 教科書「プレートテクトニクス・地向斜造山運動」にみる地学教育の変遷. <b>浅野俊雄</b>	9:30 <b>R17-O-4★</b> 3Dイメージング技術による放散虫研究の現状. <b>石田直人</b> ・岸本直子・松岡 篤・栗原敏之・木元克典・吉野 隆	9:30 <b>R22-O-4</b> 宮城県松島湾における2011年東北沖津波による珪藻遺骸群集の変化. <b>吉岡 薫</b> ・入月俊明・鈴木 淳・田中裕一郎・長尾正之・藤原 治・河潟俊吾・河野重範・西村 修・佐々木久雄
	9:45 <b>R21-O-5</b> 連続講座「地球史46億年ものがたり」－常設展示室を活用した地球史学習プログラムの開発－. <b>平田大二</b>	9:45 <b>R17-O-5</b> ニュージーランド北島, モツタプ島に分布する中部三疊系層状チャートの堆積過程. <b>相田吉昭</b> ・田村隼人・山北 聡・竹村厚司・堀 利栄・高橋 聡・Spörl K. Bernhard・Campbell Hamish J.	9:45 <b>R22-O-5</b> 海洋環境モニタリングにおける精密サンプリングの必要性. <b>秋元和實</b> ・島崎英行・矢北孝一・外村隆臣
	10:00 <b>R21-O-6</b> 市民との共同研究による博物館所蔵ボーリング標本の活用：大阪平野の地下地質を対象として. <b>石井陽子</b>	10:00 <b>R17-O-6★</b> 海洋無酸素事象のトリガーとしての火成活動と日射量変動：大地域下部ジュラ系層状チャートからの示唆. <b>池田昌之</b> ・堀利栄	10:00 <b>R22-O-6</b> JAMSTECコアキュレーションと新しいコアデータベースの構築. <b>市山祐司</b> ・中野幸彦・堀川博紀・富山隆将・佐藤悠介
	10:15 <b>R21-O-7</b> 野外科学の手法を踏まえた, 川喜田 (1967) W型の研究過程に基づく体系的な地学の学習・授業の構築と実践の試み：事例研究. <b>松田義章</b> ・五島政一		10:15 <b>R22-O-7</b> 日本海沿岸域における津波堆積物調査：北海道南西部での成果. <b>川上源太郎</b> ・仁科健二・嵯峨山 積・田近 淳・深見浩司・廣瀬 亘・石丸 聡・高橋 良・渡邊達也・興水健一・加瀬善洋
	10:30 <b>R21-O-8</b> 栃木県北東部, 那珂川沿いの地学野外実習. <b>伴 敦志</b>		10:30 <b>R22-O-8</b> 沖縄島北部, 大浦川三角州の形成過程と津波堆積物. <b>木村和雄</b>
	10:45 <b>R21-O-9</b> 2012年度, 道東で実施した2件のアウトリーチ活動報告：地質の日普及行事 in・BETSUKAIおよび巨大津波堆積物剥ぎ取り作成プロジェクト. <b>重野聖之</b> ・在田一則・石井正之・石渡一人・七山 太・青山拳司・藤岡 遼・小林知幸・池田保夫・山代淳一・横山 光	<b>R16. 古生物</b>	10:45 <b>R22-O-9</b> 喜界島の百ノ台, 湾, 荒木段丘群と琉球層群, および海溝型巨大地震. <b>遅沢壮一</b>
		座長：生形貴男 (1-6)	11:00 <b>R22-O-10</b> 阿蘇山周辺の火山灰土壌が有する重金属吸着量の評価. <b>橋本典子</b> ・手島洋紀・香村一夫・栗原正憲
	<b>R20. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造</b>		11:15 <b>R22-O-11</b> 湿地堆積物からみた霧島山えびの高原の環境変遷史 (予報). <b>井村隆介</b> ・遠矢万里・百原 新・三宅 尚・河野樹一郎・森川政人
	座長：小嶋 智 (1-2)		11:30 <b>R22-O-12</b> 東アジア地域に分布する湖沼底質中の球状炭化粒子からみた越境大気汚染物質の時系列的変化. <b>村井辰太郎</b> ・橋本真樹・吉野友美・佐藤亮介・北瀬晶子・香村一夫
	11:00 <b>R20-O-1 (招待)★</b> 地中熱利用の現状と展望. <b>笹田政克</b>		
	11:30 <b>R20-O-2</b> アジア地域の歴史的構造物に於ける地圏素材の風化と写真測量による定量評価について. <b>藤井幸泰</b> ・渡邊邦夫		
		10:15 <b>R16-O-1</b> 四国東部, 黒瀬川帯正常堆積層の礫質石灰岩から産出した前期ペルム紀フズリナ化石. <b>上野勝美</b> ・宮東 照・栗原敏之・中村景騎・原 英俊	
		10:30 <b>R16-O-2</b> 下部白亜系脇野亜層群高津尾層の石灰岩礫に産するフズリナのタフォノミーについて. <b>太田泰弘</b> ・石山沙耶・安東淳一	
		10:45 <b>R16-O-3</b> 南部北上帯中平産前期ペルム紀腕足類フォーナ：種構成・時代・古生物地理. <b>田沢純一</b> ・中村耕二	
		11:00 <b>R16-O-4★</b> 3つの大量絶滅時の陸上植生の崩壊と回復：バイオマーカーの証拠. <b>海保邦夫</b> ・齊藤諒介・水上拓也・伊藤幸佑・谷津 進・小形優加里・大庭雅寛・高嶋礼詩・小松俊文	
		11:15 <b>R16-O-5</b> 埼玉県下の中～上部中新統から産出する, マツ科 球果化石. <b>楡井 尊</b>	
		11:30 <b>R16-O-6</b> 福島県猪苗代湖の湖底堆積物コア試料 (INW2012) に産出する珪藻. <b>廣瀬孝太郎</b> ・後藤敏一・長橋良隆	

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R) のそれぞれに, 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.  
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします. 太字は代表発表者です. ※★印は, ハイライトです, 本誌 p. (11) を参照.

# 日本地質学会第120年学術大会（2013仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（月）午前

会場	会場6 (B101)
	<b>R8. 海洋地質</b>
	座長：荒井晃作 (1-4) , 山崎俊嗣 (5-8)
8:45	<p>9:45 <b>R8-O-1</b> 熊野トラフ新宮沖活撓曲の浅部構造と形成過程. 芦 寿一 郎・池原 研・大村亜希子・小嶋孝徳・村山雅史</p> <p>10:00 <b>R8-O-2</b> 相模湾から発見された新知見とその地質学的重要性－玄武岩, 蛇紋岩, 海底地滑り, 海底谷充填堆積物－. 藤岡換太郎・森 慎一・柴田健一郎・高橋直樹・平田大二・大島光春・満澤巨 彦・西川 徹・大橋みさき・koohooの会</p> <p>10:15 <b>R8-O-3</b> IODP Exp. 337: 下北沖石炭層生命圏掘削で採取された地下深 部掘削コアのCTイメージとCT値データ解析. 村山雅史・東 丸直頌・谷川 亘・森田澄人・山田泰広・久保雄介・Hinrichs Kai-Uwe・稲垣史生・IODP Expedition 337 乗船研究者一同</p> <p>10:30 <b>R8-O-4</b> 三次元的構造解析による緩傾斜陸棚斜面における大規模海底地 すべり層の認定－下北半島沖スランプ層の分布と形成様式－. 中村祐貴・森田澄人・芦 寿一郎</p> <p>10:45 <b>R8-O-5</b> IODP Exp.344 (CRISP2), Site U1413 (コスタリカ西方沖陸棚 斜面) における底生有孔虫群集変化 (速報). 内村仁美・長 谷川四郎・山本由弦</p> <p>11:00 <b>R8-O-6</b> 沖縄県宮古島北東沖・宮古曾根プラットフォームの形成史. 荒井晃作・松田博貴・井上卓彦・佐藤時幸・山崎 誠・町山栄 章・佐々木圭一・井龍康文</p> <p>11:15 <b>R8-O-7</b> 近年顕著になった宍道湖における有孔虫炭酸塩殻の溶解につい て. 野村律夫</p> <p>11:30 <b>R8-O-8</b> マルチプルコアラーによる表層堆積物採取の瞬間. 佐藤悠介・林 央之・畠山 映</p>

会場7 (B104)
<b>T5. 2011年東北地方太平洋沖地震とその付随現象に関する地質学的研究の進展</b>
座長：藤野滋弘 (1-3) , 卜部厚志 (4-7) , 菅原大助 (8-10)
<p>8:45 <b>T5-O-1 (招待) ★</b> 地質学的時間スケールでみた東北日本弧における地殻歪の蓄 積・解放過程と沈みこみ型超巨大地震. 池田安隆</p> <p>9:15 <b>T5-O-2 (招待) ★</b> 測地観測から得られた東北日本の地殻変動. 西村卓也</p> <p>9:45 <b>T5-O-3★</b> テクトニクス過程と非双過力成分－太平洋プレートは東日本大 震災前に沈み込んでいなかった－. 新妻信明</p> <p>10:00 <b>T5-O-4</b> 地震イベントに関連した日本海溝近傍における物質輸送: KR13-08航海の調査速報. 吉河秀郎・金松敏也・笠谷貴史・ KR13-08航海乗船研究者一同</p> <p>10:15 <b>T5-O-5</b> 香取市佐原地区の旧利根川河道内での最終水期以降の佐原層の 層序と液状化－流動化層準－2011年東北地方太平洋沖地震に よる液状化－流動化被害調査結果－. 風岡 修・水野清秀・ 吉田 剛・田辺 晋・香川 淳・森崎正昭・野崎真司・菅野美 穂子・古野邦雄・酒井 豊・木村満男</p> <p>10:30 <b>T5-O-6★</b> 地理空間情報の解析からみた津波被害と土地条件との関係. 小荒井 衛・中埜貴元・岡谷隆基</p> <p>10:45 <b>T5-O-7★</b> 三陸沿岸地域における3.11津波被害調査報告-2012年度TEAMS 東海大班調査概要. 根元謙次・坂本 泉・横山由香・八木雅 俊・井村理一郎・鈴木彩加・金井大輔・遠藤 綾・鄧 子龍・ 飯島さつき・鬼頭 毅・松井康雄・吉河秀郎・笠谷貴史・藤原 義弘</p> <p>11:00 <b>T5-O-8</b> 岩手県広田湾における津波起源堆積物の特徴. 横山由香・坂 本 泉・八木雅俊・井村理一郎・飯島さつき・根元謙次・鬼頭 毅・松井康雄・清水康博・吉河秀郎・笠谷貴史・藤原義弘</p> <p>11:15 <b>T5-O-9</b> 2011年東北沖津波イベントで形成された礫質津波堆積物の認定 と古津波調査における意義. 仁科健二・川上源太郎・田近 淳</p> <p>11:30 <b>T5-O-10</b> 津波により発生した有孔虫群集－福島県南相馬市の休耕水田よ り産出した生体有孔虫－. 根本直樹・霜島康浩・鈴木克久・ 井本香如・田崎和江</p>

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。  
※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（月）午後

会場	マルチメディアホール
	<b>R23. 地球史</b>
	座長：尾崎和海（26-29），黒田潤一郎（30-33），清川昌一（34-36）
14：30	14：30 <b>R23-O-26</b> フランス・Vocontian Basin Sequenceと北海道・蝦夷層群の浮遊性有孔虫化石・炭素同位体比統合層序とU-Pb年代による白亜系標準年代層序の樹立。 <b>西 弘嗣</b> ・高嶋礼詩・折橋裕二・山中寿朗・井龍康文・高柳栄子・林 圭一
	14：45 <b>R23-O-27</b> フランス南東部Vocontian堆積盆地における白亜紀中期・海洋無酸素事変1bの高解像度解析。 <b>小川草平</b> ・高嶋礼詩・西 弘嗣・井龍康文・高柳栄子
	15：00 <b>R23-O-28</b> フランス・Vocontian堆積盆地における下部-上部白亜系境界付近の放散虫化石層序。 <b>白井孝明</b> ・鈴木紀毅・高嶋礼詩・西 弘嗣・井龍康文・小川草平・高柳栄子
	15：15 <b>R23-O-29</b> 日本の白亜系におけるテフロクロノロジーの予察的研究。 <b>高嶋礼詩</b> ・桑原 里・西 弘嗣・折橋裕二・林 圭一
	15：30 <b>R23-O-30</b> 北海道夕張-三笠地域における白亜系アルピアン階の浮遊性有孔虫化石層序および炭素同位体比層序。 <b>藤森裕史</b> ・高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗
	15：45 <b>R23-O-31</b> 北海道・蝦夷層群における浮遊性有孔虫化石・炭素同位体比・凝灰岩統合層序を用いた浅海・半深海堆積物の層序対比。 <b>今井利矩</b> ・高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗
	16：00 <b>R23-O-32</b> 北西太平洋における白亜紀中期・海洋無酸素事変2における底生有孔虫群集からみた古環境変動。 <b>尾松圭太</b> ・西 弘嗣・高嶋礼詩・山中寿朗
	16：15 <b>R23-O-33</b> 始新世の海洋変革：硫黄同位体比から何が解る？ <b>長谷川 卓</b> ・沖野 遼・守屋和佳
	16：30 <b>R23-O-34</b> 東赤道太平洋域における中期-後期中新世の浮遊性有孔虫層序および群集の比較（IODP Exp.320/321）。 <b>松井浩紀</b> ・西 弘嗣・高嶋礼詩
	16：45 <b>R23-O-35</b> 海洋堆積物が語る地中海の歴史。 <b>黒田潤一郎</b>
	17：00 <b>R23-O-36★</b> Reconstruction of pH in order to estimate the relevant partial pressure of carbon dioxide during the Mesozoic era period based upon boron and oxygen isotopic compositions of fresh ammonoids and nautiloids。 <b>川崎穂高</b> ・福嶋彩香・守屋和佳・鈴木 淳・石川剛志

会場2（C200）
<b>R2. 岩石・鉱物・鉱床学一般</b>
座長：野坂俊夫（1-4），平野直人（5-8）
14：30 <b>R2-O-1</b> なぜ流体は包有されるのか。 <b>坂口有人</b>
14：45 <b>R2-O-2</b> 湯川海丘アルカリ玄武岩中のマフィック-超マフィック捕獲岩と捕獲結晶：北西太平洋リソスフェアの欠片。 <b>水上知行</b> ・中村圭吾・森下知晃・田村明弘・荒井章司・阿部なつ江・平野直人
15：00 <b>R2-O-3</b> クロミタイトから見た上部マントルの経年変化。 <b>荒井章司</b> ・アハメド アハメド H
15：15 <b>R2-O-4</b> 初期太古代地質体アカスタ片麻岩体に産する苦鉄質岩石の地球化学的特徴とその起源。 <b>越田漢子</b> ・石川晃・岩森光・小宮剛
15：30 <b>R2-O-5</b> IODP Site U1415 ヘス・ディーブ・リフトの斑れい岩類に産する緑色スピネルとダイアスポア。 <b>野坂俊夫</b> ・Wintsch Robert・Meyer Romain・IODP Expedition 345 Shipboard Scientific Party
15：45 <b>R2-O-6</b> 長野県大町市，仁科山地に分布する木崎流紋岩のK-Ar年代と岩石化学的研究。 <b>渡辺吉和</b> ・大場孝信
16：00 <b>R2-O-7</b> 北部フォッサマグナ地域に分布する鮮新世火山岩類の岩石化学・鉱物学的研究。 <b>大場孝信</b>
16：15 <b>R2-O-8</b> 地球鉱物・資源の特徴：揮発性元素と重元素。 <b>三浦保範</b>

会場3（B201）
<b>R20. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造</b>
座長：須藤 宏（3-4），永田秀尚（5-10），千木良雅弘（11-14）
14：30 <b>R20-O-3（招待）★</b> 宅地盛土すべりの現状と課題。 <b>釜井俊孝</b>
15：00 <b>R20-O-4</b> 仙台市に分布する谷埋め盛土材の風化過程。 <b>西山賢一</b> ・村尾英彦・釜井俊孝
15：15 <b>R20-O-5</b> 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による宮城県内の切土斜面災害の一般的傾向について。 <b>渡辺敬三</b>
15：30 <b>R20-O-6</b> 2011年東北地方太平洋沖地震とその余震による福島県内の地下水位変動。 <b>佐藤真一</b> ・柴崎直明
15：45 <b>R20-O-7★</b> 石垣島津波石の粘性残留磁化を用いた移動履歴の復元。 <b>佐藤哲郎</b> ・中村教博・後藤和久・箕浦幸治・長濱裕幸
16：00 <b>R20-O-8★</b> 様々な岩石の風化に伴う体積膨張とその地質学的意義。 <b>千木良雅弘</b> ・中田英二
16：15 <b>R20-O-9</b> 小出（1955）の破碎帯と断層場。 <b>吉村辰朗</b>
16：30 <b>R20-O-10★</b> 大井川上流域の「赤崩」の付加体地質学。 <b>木村克己</b> ・今泉文寿・西井稜子・大八木規夫・井口 隆・池田 宏
16：45 <b>R20-O-11★</b> 地形的に明瞭な断層が認められない地域の内陸地震と地下構造との関係（北海道日高三石地域を事例として）。 <b>大津 直</b> ・田村 慎・鈴木隆広
17：00 <b>R20-O-12</b> 2011年台風第12号による紀伊半島南部の斜面崩壊の地形・地質特性。 <b>中屋志津男</b> ・鈴木博之・中屋志郎・山本俊哉・鈴木稔和
17：15 <b>R20-O-13</b> テクトニック-ノンテクトニック反転構造：2011年紀伊半島豪雨による高速岩盤すべりを例として。 <b>永田秀尚</b> ・木村克己・横山俊治・井口 隆・加藤弘徳
17：30 <b>R20-O-14</b> 岐阜福井県境，冠山周辺の山体重力変形地形の特徴と形成過程。 <b>小嶋 智</b> ・丹羽良太・金田平太郎・池田晃子・中村俊夫・大谷具幸

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）のそれぞれに、口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。  
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌p.(11)を参照。

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月16日（月）午後

会場	会場4 (B203)	会場5 (B204)	会場6 (B101)
	<b>R16. 古生物</b>	<b>R22. 第四紀地質</b>	<b>R8. 海洋地質</b>
	座長：太田泰弘 (7-15)	座長：山田和芳 (13-14), 雁沢好博 (15-17), 七山 太 (18-20), 長橋良隆 (21-23), 鈴木毅彦 (24-26)	座長：芦 寿一郎 (9-10), 片山 肇 (11-14)
14:30	14:30 絶滅飛翔動物の生態推定と現生鳥類身体の特異性 <b>R16-O-7</b> 田中郁子 14:45 岩手県久慈市の上部白亜系久慈層群玉川層より発見された陸生カメ類. <b>R16-O-8</b> 平山 廉・蘭田哲平・佐々木和久・滝沢利夫・吉田将崇 15:00 日本列島におけるMIS3ステージのナウマンゾウ ( <i>Paleoloxodon maumanni</i> ). <b>R16-O-9</b> 近藤洋一 15:15 イラン北西部後期中新世マラゲール哺乳類動物群とその古環境. <b>R16-O-10</b> 仲谷英夫・山田英佑・蓮見恵理・宮里奈央・赤星仁美・渡部真人・酒井哲弥・澤田順弘 15:30 豊富さと非類似度の比較から見たペルム紀アンモノイドの形態的異質性変動. <b>R16-O-11★</b> 生形貴男 15:45 二枚貝リュウキウサルボウ亜科における貝殻微細構造の進化—系統進化・古生物地理の視点から—. <b>R16-O-12</b> 西田 梢・鈴木淳・佐藤 圭・佐々木猛智 16:00 ノトキンチャク属 (二枚貝綱: イタヤガイ科) はエゾキンチャク属の祖先なのか? <b>R16-O-13</b> 松原尚志 16:15 ミシシッピ州の始新世-漸新世気候移行期の浅海生貝形虫の群集変化. <b>R16-O-14</b> 山口龍彦・Norris Richard・Dockery David 16:30 新潟県南魚沼市の上部鮮新統四十日層から産出した貝形虫化石群集とその地質学的意義. <b>R16-O-15</b> 増井紀之・入月俊明・田中裕一郎・天野和孝	14:30 出雲大社境内遺跡に分布する礫層について. <b>R22-O-13</b> 渡辺正巳 14:45 鳥根県益田平野における完新世の古環境変遷史. <b>R22-O-14</b> 瀬戸浩二 15:00 青森県小川原湖湖底堆積物に記録された堆積環境の変化. <b>R22-O-15</b> 永島 郁・瀬戸浩二・渡邊隆広・奈良郁子・安田喜憲・山田和芳・米延仁志 15:15 伊豆半島南部の古地震・古津波の履歴. <b>R22-O-16</b> 北村晃寿・小山真人・小倉一輝・大橋陽子・斉藤亜妃・内田絢也・森 英樹・坂坂孝司・宮入陽介 15:30 福井県水月湖堆積物中の碎屑物起源推定と寄与率変動復元. <b>R22-O-17</b> 鈴木克明・多田隆治・中川 毅・五反田克也・原口 強・山田和芳・長島佳菜・入野智久・小島秀彰・堀内大嗣・SG06/12プロジェクトメンバー一同 15:45 松本盆地南部の大規模潜在活断層—微動アレー探索 (空間自己相関法) による地下イメージング事例—. <b>R22-O-18</b> 原山 智 16:00 活断層ガウジの光励起ルミネッセンス年代測定法. <b>R22-O-19</b> 雁澤好博・高橋智佳史・三浦知智 16:15 電気伝導度と珪藻群集から得られる塩分濃度指数の相関—北海道石狩低地の沖積層ポーリングの例—. <b>R22-O-20</b> 嵯峨山 積 16:30 走丹丹バリアースピットの地形発達史から読み解く根室海峡沿岸域の過去5500年間の海面変動と地殻変動. <b>R22-O-21</b> 七山 太・渡辺和明・吉川秀樹・重野聖之・長谷川 健・池田保夫・境 智洋・石渡一人・内田康人 16:45 東北日本における最終間氷期に形成した赤色土の分布状況と段丘の対比—編年への適用—. <b>R22-O-22</b> 仲川隆夫 17:00 会津盆地西部地下の第四紀後期テフラ層序と会津盆地西縁断層帯の活動. <b>R22-O-23</b> 鈴木毅彦・斎藤はるか・今泉俊文 17:15 最終氷期最寒冷期以降の一ノ目湯における陸水環境の変化. <b>R22-O-24★</b> 山田和芳・篠塚良嗣・瀬戸浩二・米延仁志・五反田克也・原口 強・安田喜憲 17:30 山形県庄内砂丘に挟まれる事件層と砂丘の形成. <b>R22-O-25</b> 山野井 徹・門叶冬樹・加藤和浩・今野 進・箕浦幸治 17:45 福島県猪苗代湖の湖底堆積物コアの化学組成連続分析によるラハールとテフラの識別. <b>R22-O-26</b> 長橋良隆・中澤なおみ・廣瀬孝太郎	14:30 南島鳥レアアース泥研究の最前線. <b>R8-O-9 (招待)★</b> 加藤泰浩・藤永公一郎・中村謙太郎・鈴木勝彦・柏原輝彦・町田嗣樹・原口 悟・安川和孝・大田隼一郎・渡辺大輝・飯島耕一・町山栄章・西尾嘉朗・野崎達生・岩森 光・KR13-02乗船者一同 15:00 南島鳥周辺における高濃度レアアース泥の分布状況と化学的特徴. <b>R8-O-10 (招待)★</b> 鈴木勝彦・加藤泰浩・飯島耕一・中村謙太郎・藤永公一郎・西尾嘉朗・町山栄章・町田嗣樹・原口 悟・安川和孝・大田隼一郎・野崎達生・KR13-02乗船者一同 15:30 赤色粘土の磁気的性質: レアアース含有量との関連. <b>R8-O-11★</b> 山崎俊嗣・下野貴也・白井洋一 15:45 深海曳航式サブボトムプロファイラーによる熱水活動域の地下浅部構造の解明—中部沖縄トラフ伊是名海穴の例—. <b>R8-O-12</b> 多良賢二・徳山英一・芦 寿一郎・亀尾 桂 16:00 薩摩硫黄島海水変色域における海水変化の長期観測. <b>R8-O-13</b> 蓑和雄人・清川昌一・後藤秀作・倉富 隆・池上郁彦 16:15 鬼界カルデラ薩摩硫黄島における熱水活動による水酸化鉄バクテリアマウンドの構造. <b>R8-O-14</b> 倉富 隆・清川昌一・池原 実・後藤秀作・池上郁彦・蓑和雄人

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。  
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

■ 9月16日（月）午後

会場	会場7（B104）	
	R11. 堆積相・堆積過程	
	座長：高清水康博（1-4），市原季彦（5-8），酒井哲弥（9-12）	
14：30	14：30	R11-O-1 中国，新疆自治区ジュンガル盆の湖沼成下部白亜紀層の吹送流堆積作用。 <b>坂井 卓</b> ・平野弘道・太田 亮・香西 武・Li Gang
	14：45	R11-O-2 岩盤河床の周期的ステップ地形形成に関する実験的研究。 <b>横川美和</b> ・小寺 彰・京極晃年・泉 典洋
	15：00	R11-O-3★ テフラが示す「偽」同時期面：5 ka沼沢湖テフラの例。 <b>片岡香子</b> ・卜部厚志
	15：15	R11-O-4 有明海における1792年の津波堆積物の特徴。 <b>市原季彦</b> ・下山正一・山中寿朗・大西雄二・堤 裕昭
	15：30	R11-O-5 ニュージーランドカンタベリー堆積盆地陸棚掘削コアを用いた貝形虫化石群集解析に基づく後期鮮新-前期更新世の海水準変動量の復元。 <b>中村めぐみ</b> ・楠 慧子・山田 桂・保柳康一
	15：45	R11-O-6 シーケンス境界形成と氷河性ユースタシー周期との関係：ニュージーランド南島沖陸棚-斜面の例。 <b>保柳康一</b> ・河潟俊吾・上端智幸・Blum Peter・Fulthorpe Craig
	16：00	R11-O-7 前期更新世に掛川海盆（静岡県）で起きたテクトニックな運動の復元の試み。 <b>北堀建太</b> ・酒井哲弥
	16：15	R11-O-8 リフト盆地発達初期の堆積サイクルの形成・不形成：鳥根県中新統古浦層の例。 <b>酒井哲弥</b>
	16：30	R11-O-9 前弧堆積埋積層序2：セッティング変化に対する堆積システム応答－三陸沖・東海沖前弧を例として－。 <b>高野 修</b>
	16：45	R11-O-10 カディス湾およびポルトガル西部沖のコンターライト堆積システムにおける完新世砂質堆積物のAMSファブリックと粒度特性（予報）。 <b>高清水康博</b> ・河村遼平・Hernández-Molina F.J.・Stow D.A.V.・Alvarez-Zarikian Carlos・Exp. 339 Scientists
	17：00	R11-O-11 斜面で発生した真正スランプ堆積物と堆積盆地で発生したスランプもどきタービダイトとの区別は可能か－現状と課題－。 <b>徳橋秀一</b>
	17：15	R11-O-12 海底土石流堆積物に発達する渦山構造と削剥痕跡の解析。 <b>中屋志郎</b>

■ MEMO ■

■ MEMO ■